

詩と語りのコンサート 訳詩・作詞 野村路子 作曲 中村ヨシミツ

テレジン もう蝶々はいない

語り 野村路子 演奏 魂のギター・中村ヨシミツ

歌 西山琴恵 三原ミュキ

プロデュース 有道 信行

日時 2015年9月11日(金)

開場 18時30分 開演 19時00分

会場 ギャラリー古藤

西武池袋線 「江古田駅」下車 徒歩5分
西武有楽町線 「新桜台駅」下車 徒歩5分
大江戸線 「新江古田駅」下車 徒歩7分

練馬区栄町9-16・武蔵大学正門斜め向い TEL03-3948-5328

入場料 大人 2,500円 高校生以下 1,500円



テレジン？

チェコ共和国のプラハから北、約60kmの所にテレジン市があります。この町は、第二次世界大戦の時に、多くのユダヤ人がアウシュヴィッツに送られていく際の、中継点の一つとして町ごと収容所になりました。

この収容所には、沢山の子どもたちがいました。親の消息もわからない毎日、過酷な労働、劣悪な環境、迫り来る死の恐怖・・・、子どもたちが笑いを忘れ、すさんだ気持ちに追い込まれていきました。

子どもたちの絵や詩はどうして生まれたの？

子どもたちのこのような様子を、収容所の大人たちは見過ごしませんでした。画家のフリードル先生をはじめとする大人たちが“教室”を開こうと努力しました。そして、ドイツ兵の監視の目を盗んで、子どもたちに絵を描き、詩を書くように励ましました。

こうして絵が描かれ、詩が書かれた、収容所が解放され発見できた絵が4,000点、詩が三十数点ありました。

歌と語りのコンサート

「テレジン もう蝶々はいない」は

日本で生まれました！

命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、絵や音楽や詩、創造することが生きる力になるという事実、そして、子どもたちの笑顔を守るために大人が命をかけてもしなければならないこと。

親が子どもの命を奪い、子どもが親を邪魔だと殺し、友だちを抹殺する、今の日本の現実。テレジンの子どもたちのメッセージを伝えるために。私たちはこのコンサートを続けていきます。

「テレジンもう蝶々はいない」は、収容所の中で、勇気ある大人たちの命がけの努力と励まして、生きている事の素晴らしさを知った子どもたちの詩を中心に構成した日本のアーティストにより作られた歌と語りのコンサートです。



問合せ テレジンを語りつぐ会 代表 野村路子 (090-4620-2717)

歌と語りのコンサート事務局 有道信行 (090-8342-2956)

ナチスのテレジン収容所に残された4000枚の子どもたちの絵と数十篇の詩から生まれた、歌と朗読のコンサート。戦後70年の節目に平和への祈りを込めて開催します。

出演者プロフィール

野村路子 (朗読・解説)



早稲田大学仏文科卒業。コピーライターとして活躍していた1989年、プラハでテレジンの子どもたちの描いた絵に出会い、1991年から「テレジン収容所の幼い画家たち展」を開催。数少ない生き残りの方々へのインタビューをかさね、『15000人のアンネ・クランク』『子どもたちのアウシュヴィッツ』など著書多数。『テレジンの小さな画家たち』で第41回産経児童出版文化賞を受賞。

1996年に、中村ヨシミツ氏と組んで「テレジンもう蝶々はいない」コンサートを企画、その活動を知ったテレジン市から招かれて2001年には「テレジンもう蝶々はいない」のチェコ公演を実現。本年1月にアウシュヴィッツ解放70周年記念式典に招待され出席。

西山琴恵 (歌)



1991年「全国童謡歌唱コンクール」関東甲信越大会で最優秀賞受賞。唱歌・童謡・新しいこどもの歌・叙情歌を中心にコンサートや録音など活動をしている。2004年第34回日本童謡賞特別賞受賞。(公財)ソニー音楽芸術振興会主催の「Concert for Kids」、東京フィルハーモニー交響楽団の「親子音楽館」や文化庁の学校公演などに出演。童謡ソロアルバム「Pallet」、朗読CD「おばけのプリン」、DVD「しまじろうのファミリークリスマス」(ベネッセ)、CMソング「家庭教師のトライ」(現在放映中)などでも活躍。

中村ヨシミツ (ギター)



法政大学ギタークラブ出身。小林旦氏に師事し、クラシックを学ぶ。その後、様々なジャンルのアーティストとのコラボをかさね、独自の世界を創り、「魂のギター」「即響のギタリスト」として活躍。

「2007年全国川サミット in 荒川」で音楽担当と「ヨシミツと仲間たちバンド」での演奏。

定期的開催される赤坂ノヴェンバー・イレブンス(宇崎童童・阿木燿子夫妻の店)のライブでは、新たな企画や試みの場にもなっている。語りと歌で構成する組曲「幻」(作・阿木燿子、作曲・中村ヨシミツ)は、今やヨシミツの代表作となる。

作曲家としても数多くの名曲があり、高く評価されている。

三原ミュキ (歌)



京都市立芸術大学音楽学部を卒業後、クラシックからシャンソンに転向し、1991年全国シャンソンコンクールで奨励賞を受賞。シャンソン、カンツォーネ、日本の歌(童謡・唱歌、演歌、ポピュラー)、ラテン他、幅広いレパートリーを持つ。現在、宇崎童童氏(音楽監修)・阿木燿子氏(プロデュース)のひふみコーラスチューズデーハーモニーに参加。2014年新国立劇場公演「フラメンコ曾根崎心中」(阿木燿子プロデュース・作詞、宇崎童童音楽監修)に、お初の歌を担当。2015年にも参加が決まっている。

「蝶々」

蝶よ 黄色い蝶よ

野を越えて 川を渡り 自由に飛んで
あの花に この花に くちづけをして
私たちの 生きたいのぞみ 伝えて欲しい
越えられぬ 高い塀に とじこめられて
蝶よ みんなの夢を 蝶よ かなえてください

蝶よ 黄色い蝶よ

空高く 空高く 舞い上がって
かがやく太陽に くちづけをして
ぼくたちの 別れの言葉 伝えて欲しい
越えられぬ 高い塀に とじこめられて
蝶よ みんなの夢を 蝶よ かなえてください

あれが 最後の蝶々 あれが最後の花よ

あれが 最後の太陽
もう 蝶々はいない 花はない
子どもたちは いない

パヴェル・フリードマン

1929年1月7日生れ

1944年9月29日 アウシュヴィッツへ

最寄り駅からのアクセス

- ・西武池袋線江古田駅南口徒歩5分
- ・都営地下鉄大江戸線新江古田駅A2出口徒歩7分
- ・西武有楽町線新桜台駅2番出口徒歩6分
- ・関東バス江古田駅バス停徒歩4分
- ・関東バス・国際興行バス豊玉北バス停徒歩6分
- ・都営バス武蔵大学バス停徒歩1分

